

2024 年度日中友好協会岡山支部総会が 6 月 30 日に開催されました

真田紀子

当日、会場の岡輝公民館に集まったのは、12 人でした。

来賓としてご挨拶頂いたのは、華僑華人総会の劉勝徳さんと、日中友好協会岡山県支部連合会事務局長の犬飼繁さん、日本共産党岡山市議の林潤さんでした。

その後全員に自己紹介をしていただきました。理事長の河井さん、支部長の真田、理事の青木さん、稲葉さん、貝吹さん、小川さん、井堀ご夫妻、田中さんです。

議事進行表に従って議案を担当の理事が説明しました。

その後休憩に入り、この時間を利用して青木さんと小川さんに太極拳の表演をしていただきました。(写真)

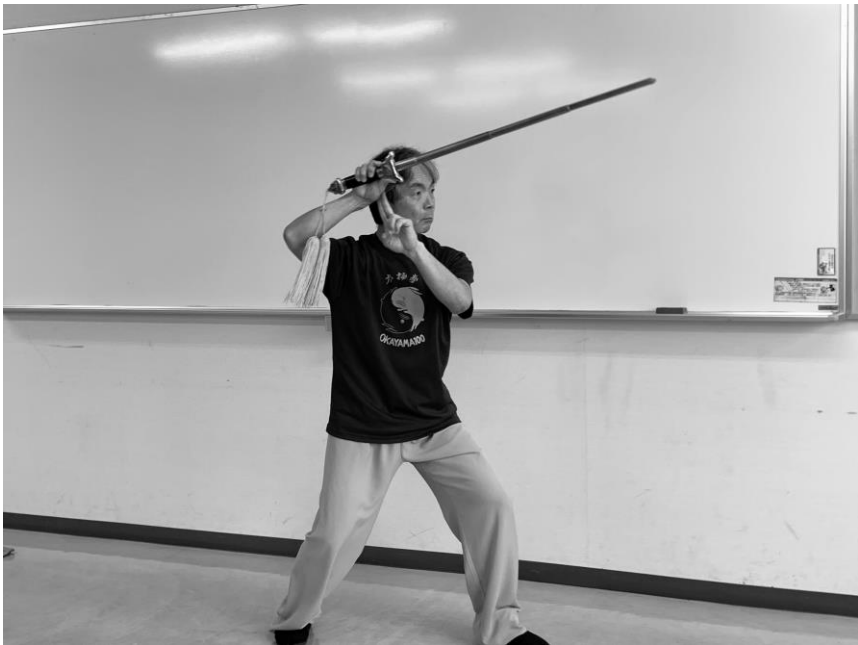
休憩後、2023 年度の決算報告、会計監査報告、監査の木村さんは欠席されていましたが、書面で意見を述べておられましたので、皆さんで確認しました。

特に会場からも意見が出たのが、預り金として計上していた、「中国残留邦人の尊厳を回復する会」からの資金についてどうするのかということです。もうこの回が存続していないのであれば、岡山支部の会計に組み入れることでよいのではという意見でまとまりました。議案と決算書まとめて拍手で承認されました。

2024 年度の予算案、2024 年度の活動のすすめ方など書面で説明して、総会が無事終わりました。

最後に 2024 年度から新しく理事になっていただくことになったのが、井堀風才さんです。いつもご夫婦で参加されていたので、井堀紅霞さんと二人で理事に名を連ねていただくことになりました。

1026
2024/7/15



日中友好協会倉敷支部 2024 年度役員訂正のお知らせ

「日中おかやま」7 月 1 日号で新役員を紹介しましたが、片岡淑子理事が記載漏れでした。

失礼をお詫びして、改めて新役員を紹介いたします。

支部長：栗本泰治(再任)、顧問：宮地義男(再任)、理事：犬飼繁、宇野忠義、大本芳子、片岡淑子、河田千春、筒井保行、平井昭夫(以上再任)、三宅誠志(新任)。なお、宇野進理事は、総会後、重症・入院のため辞退しました。監査は募集中であり、理事会で決めることになりました。

(宇野忠義)

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhongyouthao.iinaa.net>
メールアドレス
rizhongyouthaohekayama@yahoo.co.jp



おめでとうございます！

中国百科検定特級 4 分野制覇で小川涼子さんが日中友好協会大会で表彰されました。

中国百科検定の特級を全制覇したことについて、6月9日の日中友好協会の全国大会で表彰された。

オンラインで参加していたので、多くの会員が視聴しているなかで、名前を呼ばれた。……ただけけども。結構な人数がいたので仕方がない。

ところで岡山支部にはわたしのほかに、もう一人特級全科目制覇している人がいる。小林軍治さんだ。全国大会で表彰された中にはもちろん軍治さんの名前もあった。わたしに中国百科検定を受けるよう勧めてきたのは、軍治さんだ。わたしより少し早く特級全科目制覇してらした。勝ち逃げである。仕方がないので、わたしは特級全科目制覇したあとに、一番簡単な初級を受験し、合格した。本当の全科目制覇を

してみた。それから軍治さんはいつも真面目に勉強してから受験してたので、だいたい満点かそれに近い点数で合格していた。地理以外は合格ラインすれすれだったわたしとは大違いだ。

だからわたしは今は全科目満点合格を目指して、再びチャレンジしている。知ることは、楽しい。へえ～、ほお～と感じるだけで、わくわくする。うすらぼんやりと得た知識を、しっかりと覚えられたなら、もっと楽しい。

もしまだ一度も中国百科検定を受けたことがないなら、ぜひ12月には受験してみしてほしい。学生のころ義務でさせられた勉強が嫌いで仕方なかった人も、大人になってから趣味でする勉強は気楽で楽しいばかりだから。 小川涼子

「中国人留学生との交流会」（その2）

さらに、葬儀文化では、伝統的な棺桶を使った土葬の文化が残っており、独特の葬歌文化もあります。夜になると、一人が太鼓を持ち、一人が銅鑼を持って霊柩の周りをゆっくりと歩きながら歌い、生者の祝福や歴史の物語を歌います。葬歌は2～3千年の歴史があると言われています。埋葬の日には専門家が場所を選び、夜明け前に墓穴を掘り、朝になると葬儀を行います。葬儀が終わると親族振り返ってはいけません。振り返ると亡者の魂を連れ帰ると信じられているからです。

子供の頃、学校に通うために毎日約5キロメートル歩いていました。家から公道まで約500メートルの狭い田んぼの畔道を歩き、そこから公道に出ますが、公道も土の道でした。2006年頃になって主要な道路がコンクリートで舗装されましたが、私の通学路はまだ土の道でした。

4年生の時、両親が出稼ぎに出る準備をしていたため、私はおばあちゃんの家に移居しました。おばあちゃんの家は比較的裕福で、おじいちゃんが牛を飼い、田んぼを耕して収入を得ていました。4年生から6年生の初めまでは外婆の家で過ごしました。外婆の家は学校から約1.5キロメー

トル離れていましたが、すべて舗装された道でした。1.5キロメートルといっても、私は学校に住み、日曜日の午後に学校に行き、金曜日の午後に帰宅していました。学校の食堂にはご飯しかなく、学期の初めに学校に穀物と薪を持っていきました。通常、学校に持って行くのはトウモロコシや米でした。したがって、朝と晩はトウモロコシ粥、昼はご飯を食べ、持参した保存の効くおかずを食べました。新鮮な野菜はほとんどありませんでした。

中学校に入ると、中学校は町にあったので、約十数キロメートルの通学距離があり、週に一度、日曜日の午後に学校に行き、金曜日の午後に帰宅しました。中学校でも同じように家から持参したおかずを食べましたが、穀物や薪の代わりにお金を支払いました。中学1年の後半には、両親が常州で働いていて、一定の貯金ができたので、常州に家を買って引っ越しました。その後、私は常州で学校に通うことになりました。常州では初めてサッカーの授業を受けました。故郷の学校にはほとんど体育設備がなかったためです。しかし、故郷の英語教育のレベルが低かったため、常州に来てからは英語の授業についていけず、成績が悪くなりました。そのため、高校に進学することができず、5年間の専門学校に通いましたが、大学に進学できなかったことは残念に思っています。

2017年5月、より良い給与を求めて技能実習生として日本の広島県福山市に渡り、3年間働きました。2020年8月、特定技能1号のビザで倉敷市に移り、それ以来倉敷市で働いています。

現在、私は常州市金壇区に住んでいます。ここは中国の伝統的な江南地区で、比較的豊かな地域です。現在、経済も発展しています。両親が金壇に引っ越したのは、故郷では仕事、教育、医療、交通などが不便だったためです。私の村では以前、各家庭が花火を作っていましたが、ある年、火薬を干していた家で事故が発生し、何人かが死亡し、負傷しました。その後、関係者が逮捕され刑務所に送られたため、徐々に皆が引っ越し始め、近くは町に、遠くは他の場所に移住しました。しかし現在、村では国家が資金を提供して住宅地を計画し、資金のある家庭は自分で家建て、資金のない家庭は国家が1人当たり30平方メートルの面積で家建てています。（終わり） 胡滿意

次回の新聞送付作業は7月25日（木）午前10時半から民主会館で行います。前回お手伝いくださった方です。

飼犬
吹貝
河井
真田